



平成 27 年 11 月 25 日

会社名 株式会社 fonfun
代表者名 代表取締役社長 林 和之
(JASDAQ・コード 2323)
問合せ先責任者 取締役経営管理部部長 八田 修三
電話 03-5365-1511

第三者割当による新株式の募集に関するお知らせ

当社は、本日開催の取締役会において、第三者割当による新株式の募集について決定いたしましたので、以下のとおりお知らせいたします。

記

I. 第三者割当による新株式の発行

1. 第三者割当による新株式発行の概要

(1)	払込期日	平成 27 年 12 月 10 日
(2)	発行新株式数	普通株式 205,000 株
(3)	発行価額	1 株につき 金 439 円
(4)	調達資金の額	金 89,995,000 円
(5)	募集又は割当方法 (割当予定先)	第三者割当方式 株式会社武蔵野 102,500 株 株式会社 NSKK ホールディングス 102,500 株
(6)	その他	本新株式の発行については、金融商品取引法に基づく有価証券 通知書の効力発生を条件としております。

2. 募集の目的及び理由

当社は、従来から行っておりますリモートメール事業を中心に事業を展開してまいりましたが、既存携帯端末からスマートフォン端末への移行が進むなど、当社の事業環境は大きく変革してまいりました。

また、事業環境の変革が、結果としてリモートメール事業の契約数の減少にもつながり、当社の事業収益も伸び悩み、厳しい状況が続いております。

一方、リモートメール事業に比肩する事業として、平成24年よりSMS事業に取り組んで参りましたが、具体的には、広告宣伝及び顧客企業の対象ユーザーの導入を主な目的とした、当社サービス『らくらくナンバー』、『いけいけナンバー』、『いけいけナンバーAPI』と3つのサービスSMSを顧客企業に対して提供し、拡販してまいりましたところ、前期末から当期第2四半期にかけて、契約数、送信数ともに大幅に増加し、顧客層となる業界も拡大してまいりました。

SMS事業の成長を鑑み、当社としては、これまで以上にSMS事業の拡大を行うことこそが当社の収益基盤の強化に繋がると考え、更なる収益の拡大、及び既存営業力および販売管理体制の強化のため営業人員の増加、及び課金システムの開発を実施することにいたしました。

そこで、当社は、当該事業強化のための資金繰りの検討を行ったところ、平成27年9月末日における当社の現預金残高は462百万円であり、数期にわたって継続して当期(四半期)純損失を計上している状況であることから、現在当社で保有する現預金を資金投下してしまうことで、当社の事業存続のリスクがあることを鑑み、当該事業強化のため、新たに資金調達を検討することと致しました。

今般の資金調達の検討に際し、間接金融、直接金融の手段による資金調達の検討を行ったものの、間接金融については、当社が数期にわたり当期純損失を計上しており、借入見込先の目途が立たないことから、直接金融による資金調達方法を主眼として検討を行いました。

そこで、直接金融による資金調達方法について検討を行ったところ、公募増資は、現在の株式市場、当社の業績、財政状態、株価動向、株式流動性等から判断すると、現実的でなく、さらに、株主割当は、調達額も不確定であり、また手続きにかかる時間及びコストを考慮いたしますと、不適であると判断いたしました。

上記検討を踏まえ、当社の資金需要を満たし今後の事業展開をはかるうえで最良の手段は第三者割当増資になります。第三者割当増資のために当社は様々な見込み先の検討を行った結果、これまでに当社のSMS事業についての新規見込み客を紹介頂いており、当社株式を508,800株(議決権比率19.43%)保有する当社の主要株主でもある株式会社武蔵野に第三者割当増資の割当予定先として、SMS事業の今後の事業計画を説明したところ、株式会社武蔵野より第三者割当による増資に応じて頂くことについての回答を頂きました。

また、株式会社武蔵野より、当社株式を130,000株(議決権比率4.96%)保有する賀川正宣氏にも第三者割当の割当予定先として打診頂き、賀川正宣氏と当社の間において協議を行ったところ、代表取締役を務める株式会社NSKKホールディングスが、これに応じて頂けるとの回答を得ました。

当社としましては、株式会社武蔵野及び賀川正宣氏が、これまで当社株式を安定的に保有して頂いたこと、また、株式会社武蔵野については、同社の従業員2名が当社の取締役として参画し、当社に対

して有益な情報を提供して頂いていること、今般事業拡大を検討している SMS 事業についても、新規見込客の紹介をこれまでも行って頂いており、当該事業についての理解が深いことなどを考慮し、今般の割当予定先とすること致しました。

3. 調達する資金の額、使途及び支出予定時期

(1) 調達する資金の額

① 払 込 金 額 の 総 額	89,995,000 円
② 発 行 諸 費 用 の 概 算 額	2,070,000 円
③ 差 引 手 取 概 算 額	87,925,000 円

(注) 1 本新株式の発行にかかる諸経費の内訳は、割当先に対する調査費用として 250,000 円、書類作成費用として 1,200,000 円(株式会社 ADCC-FAS、東京都千代田区九段北 1-15-12、代表取締役星野智之)、登録免許税として 320,000 円、その他諸経費(司法書士報酬、信託手数料、公告費用等)として 300,000 円を予定しております。

2 発行諸費用の概算額には消費税は含まれておりません。

(2) 調達する資金の具体的な使途

資金使途	支出金額	支出時期
①SMS 事業拡大のための営業強化資金	50,000,000 円	平成 27 年 12 月～平成 28 年 10 月
②SMS 事業強化のための顧客管理システムの強化資金及び課金システム導入資金	37,925,000 円	平成 27 年 12 月～平成 28 年 10 月
合計	87,925,000 円	

(注)1 調達した資金は、支出するまでの期間、当社の取引先銀行の普通預金口座にて保管する予定です。

(注)2 資金使途は、以下の内容を予定しております。

当社が、平成 24 年より事業を開始致しました SMS サービスは、広告宣伝及び顧客企業の対象ユーザーの導入を主な目的として、『らくらくナンバー』、『いけいけナンバー』、『いけいけナンバーAPI』と 3 つのサービスにより構成されており、現在およそ 100 程度の法人及び個人事業主に利用頂いております。

その概要と致しましては、携帯電話のショートメッセージ機能を用いて、エンドユーザーに対して、案内及び広告宣伝を行うサービスであり、主に家賃督促等への連絡を行う不動産業、車検や定期点検の時期などのアナウンスを行うカーディーラー等、及びクリーニング業における受取の案内など、多岐にわたる業種に利用頂いております。

これまでにおいては、当社の事業資金が限られていることもあり、積極的な事業拡大に踏み切ることは行っておりませんでした。近年特に利用ユーザーが増加している背景等を

鑑み、今般事業資金の投下を行い、事業の拡大を企図致しました。

具体的な資金の使途として、①SMS 事業拡大のための営業強化資金として、営業人員の拡充(およそ 10～15 名程度)を行うための資金として 50,000 千円の支出を見込んでいるほか、②営業強化を行うことにより、SMS 事業の利用数及び顧客数が増加することが見込まれるため、当社の SMS 事業の管理体制についても強化を行う必要があると考えていることから、現在は属人的な形式にて行っている課金システム等の整備、並びに携帯電話キャリア会社毎の管理システムの構築、及び諸経費の資金等として、37,925 千円の支出を見込んでおります。

4. 資金使途の合理性に関する考え方

本第三者割当は、資本を増強し、当社の既存事業である SMS 事業における営業人員の増員をはじめとする事業基盤の確立に加え、SMS 事業の課金システムをはじめとする顧客管理及び販売体制の強化を予定しており、事業基盤の確立による収益の拡大を企図していることから、その資金使途は合理的であると判断しております。

よって、本第三者割当による調達資金は、収益基盤の当社の状況を改善するためにも必要不可欠であると考えており、事業基盤の確立を推進することが、既存株主に対する株主価値の向上につながると考えていることから、調達する資金使途は合理的であるものと考えております。

5. 発行条件等の合理性

(1) 払込金額の算定根拠及びその具体的内容

新株式の発行価額は、本第三者割当に係る取締役会決議日の直前営業日(平成 27 年 11 月 24 日)までに東京証券取引所ジャスダック市場の公表した当社普通株式株価(終値、以下本項において同じ。)の前営業日の株価である 439 円と同値である 439 円とすることにいたしました。

なお、当該発行価額は、取締役会決議日の直前営業日(平成 27 年 11 月 24 日)の終値と同値であり、直前営業日から 1 ヶ月間の平均株価 455.90 円から 103.85%のプレミアム、直前営業日から 3 ヶ月間の平均株価 442.52 円から 100.80%のプレミアム、直前営業日から 6 ヶ月間の平均株価 439.64 円から 100.15%のプレミアムとなっております。

発行価額の算定にあたっては、出来る限り恣意性を排除した客観的な株価に基づくことが重要であると認識しております。また、株式市場全体が不安定な値動きをしている場合や、もしくは当社の株価が不安定な値動きをする場合には、何らかの特殊な要因が株価の形成に影響を与えているのか否かを評価する必要があると認識しております。

当社といたしましては、平成 27 年 11 月 12 日に開示致しました「平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算短信[日本基準]」の以降の株価推移を勘案し、直近の株価が客観的な市場取引により形成された株価であり、当社の企業価値を反映していると判断したものであります。

当社といたしましては、直前営業日の株価が当社の企業価値を客観性に示していると判断しており、日本証券業協会が定める「第三者割当増資の取扱いに関する指針」において定める価額の範

囲内であると考えております。

なお、本株式の発行に関し、監査役 3 名(社外監査役 3 名)全員は、上記算定根拠、本株式発行に係る取締役会決議日の前営業日を基準とした株価等を勘案し、取締役の判断が既存株主の利益保護の観点からも合理的なものであることを確認したうえで、また、日本証券業協会の「第三者割当増資の取扱いに関する指針」に準拠しており、公正価値の算定結果の水準の範囲であることから、合理的な価額であると認識しており、本株式の発行価額が割当先に特に有利でなく、適法である旨の意見を述べております。

また、監査役会の当該意見に基づき、当社取締役会としても、発行価額が割当先に特に有利なものではなく、適法である判断していることから、新株式の発行価額を決定致しました。

(2) 発行数量及び株式の希薄化の規模が合理的であると判断した根拠

本第三者割当に伴い、本新株式 205,000 株の発行を行い、これによる当希薄化率は 7.70% (議決権比率 7.83%) となります。これにより既存株主の皆様におきましては、株式持分及び議決権比率が低下いたします。また、1 株当たり純資産額、1 株当たり予想当期純利益が低下する恐れがあることから、1 株あたりの希薄化が生じるため、既存株主様の株式価値が一時的に低下する可能性があると考えております。

しかしながら、当社は、現状において、収益基盤がぜい弱な状況であり、平成 27 年 11 月 12 日付「平成 28 年 3 月期第 2 四半期決算短信」にて公表いたしましたように、営業キャッシュ・フローのマイナスを含め、財務上の問題が依然として継続しております。

本第三者割当は、「2. 募集の目的及び理由」に記載のとおり、当社既存事業である SMS 事業のために使用するため、当社の収益基盤の拡大、及び体制の強化に寄与すると考えております。

以上により、本第三者割当に伴い希薄化が生じることとなりますが、当社取締役会では、当社を取り巻く状況を加味した上で、手元資金の確保によって、財務基盤の強化を行い、本第三者割当により、収益基盤の確立が可能となると共に、既存事業の立て直しによる与信力の向上や企業価値の向上が期待されることから、本第三者割当増資の希薄化の規模は合理的な水準であると判断いたしました。

6. 割当予定先の選定理由等

(1) 割当先の概要

(株式会社武蔵野)

(1)	名 称	株式会社武蔵野			
(2)	所 在 地	東京都小金井市東町四丁目 33 番 8 号			
(3)	代表者の役職・氏名	代表取締役 小山 昇			
(4)	事 業 内 容	レンタル商品の取り扱い、中小企業支援事業			
(5)	資 本 金	9,900 万円			
(6)	設 立 年 月 日	昭和 39 年 7 月 13 日			
(7)	発 行 済 株 式 数	212,711 株			
(8)	決 算 期	4 月			
(9)	従 業 員 数	300 名			
(10)	主 要 取 引 先	株式会社ダスキン			
(11)	主 要 取 引 銀 行	東日本銀行、東京都民銀行			
(12)	大株主及び持株比率	有限会社 小山経営研究会 44.1% 小山 昇 30.8% 藤本 太郎 14.2% 藤本 若葉 3.7% 小山 泊 3.6% 小山 和 3.6%			
(13)	当 事 会 社 間 の 関 係				
	資 本 関 係	当社の株式を 508,800 株(議決権比率 19.12%)保有する、第 2 位の株主である当社主要株主です。			
	人 的 関 係	当該会社より、当社取締役に 2 名派遣されております。			
	取 引 関 係	当社の SMS 事業における取引を有しており、SMS 事業の販売代理店として関与しております。			
	関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	当該会社は、当社の関連当事者には該当しません。また、当該会社の関係者及び関係会社は、当社の関連当事者には該当しません。			
(14)	当該会社の最近3年間の経営成績及び財政状態(単位:千円)				
決 算 期	平成 25 年 4 月期	平成 26 年 4 月期	平成 27 年 4 月期		
純 資 産	306,633	363,337	427,017		
総 資 産	2,000,017	2,196,643	2,578,343		
1 株 当 たり 純 資 産	1,441.54	1,708.12	12,121.34		
売 上 高	4,515,026	4,779,049	4,925,028		
営 業 利 益	168,143	194,443	207,323		
経 常 利 益	167,492	192,916	201,642		

当 期 純 利 益	47,760	77,975	95,586
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	224.53	366.57	449.37
1 株 当 たり 配 当 金	100.00	150.00	100.00

(株式会社 NSKK ホールディングス)

(1) 名 称	株式会社 NSKK ホールディングス		
(2) 所 在 地	兵庫県神戸市灘区船寺通四丁目 6 番 10 号		
(3) 代表者の役職・氏名	代表取締役 賀川 正宣		
(4) 事 業 内 容	通信機器販売、コンサルティング、人材教育事業		
(5) 資 本 金	4,900 万円		
(6) 設 立 年 月 日	平成 6 年 2 月 1 日		
(7) 発 行 済 株 式 数	8,820 株		
(8) 決 算 期	9 月		
(9) 従 業 員 数	7 名		
(10) 主 要 取 引 先	KDDI 株式会社		
(11) 主 要 取 引 銀 行	商工中金、りそな銀行、京都銀行		
(12) 大株主及び持株比率	賀川 正宣	70%	
	賀川 志麻子	15%	
	その他	15%	
(13) 当 事 会 社 間 の 関 係			
資 本 関 係	当該会社の代表取締役である賀川正宣氏は、当社株式を 130,000 株保有する第 4 位の株主です。		
人 的 関 係	該当事項はありません。		
取 引 関 係	該当事項はありません。		
関 連 当 事 者 へ の 該 当 状 況	該当事項はありません。		
(14) 当 該 会 社 の 最 近 3 年 間 の 経 営 成 績 及 び 財 政 状 態 (単 位 : 千 円)			
決 算 期	平成 24 年 9 月 期	平成 25 年 9 月 期	平成 26 年 9 月 期
純 資 産	126,914	129,015	129,289
総 資 産	787,965	708,007	540,512
1 株 当 たり 純 資 産	14,389.42	14,627.65	14,658.67
売 上 高	1,787,973	227,377	103,183
営 業 利 益	11,261	27,749	14,070
経 常 利 益	8,768	13,738	273
当 期 純 利 益	3,103	2,101	273
1 株 当 たり 当 期 純 利 益	351.84	238.23	31.01
1 株 当 たり 配 当 金	—	—	—

(注) 当社は、各割当予定先が反社会的勢力との取引関係及び資本関係を一切有していないことを確認いたしております。また、上記とは別に、割当予定先が反社会的勢力の影響を受

けているか否か、並びに割当予定先の役員及び主要株主が犯罪歴を有するか否か及び警察当局から何らかの捜査対象になっているか否かについて、当社から第三者の信用調査機関である株式会社グレコ(東京都中央区日本橋小舟町4番5号 SK小舟町ビル 8F 代表取締役上小牧 政章)に調査を依頼いたしました。その結果、割当予定先について反社会的勢力の影響を受けている事実は確認できませんでした。また、各割当予定先の役員及び主要株主についても犯罪歴や捜査対象となっている事実は確認されなかったとの回答を得ております。上記のとおり、割当予定先と反社会的勢力との関係は確認できないことから、当社として、割当予定先は反社会的勢力との関わりがないと判断いたしました。なお、その旨の確認書を東京証券取引所に提出しています。

(2) 割当先を選定した理由

(株式会社武蔵野)

株式会社武蔵野は、ダスキン事業、IT ソリューション事業、経営支援事業を営んでいる企業であり、当社株式を 508,800 株(議決権比率 19.43%)保有する当社の主要株主です。また、現在、同社の従業員 2 名が当社の取締役として参画しており、当社に対して有益な情報を提供して頂いております。また、株式会社武蔵野が行う経営サポート事業の会員企業に対する情報発信として、当社の SMS を利用頂いているほか、当社の SMS 事業において、販売代理店として株式会社武蔵野の会員企業のなかで、新規見込客を獲得したい会員に対し、SMS サービスの紹介をこれまでに行って頂いております。

本第三者割当を企図するにあたり、今般の資金調達の目的が、SMS 事業の強化であることから、当該 SMS 事業に理解を頂いております株式会社武蔵野に対して SMS 事業の今後の事業計画を説明した上で第三者割当増資の引受けを打診したところ、株式会社武蔵野より第三者割当による増資に応じて頂くことについての回答を頂いたことから、今般の割当予定先に選定致しました。

(株式会社 NSKK ホールディングス)

株式会社 NSKK ホールディングスは、当社株式を 130,000 株(議決権比率 4.96%)保有する賀川正宣氏が代表取締役を務め、また賀川氏が株式の 70%を保有する企業であります。

本第三者割当の検討において、株式会社武蔵野より、第三者割当増資の引受けの応諾を頂いたと同時に、株式会社武蔵野より賀川正宣氏に対して第三者割当増資の打診を行って頂き、その上で賀川氏と当社の間において協議を行ったところ、代表取締役を務める株式会社 NSKK ホールディングスが、これに応じて頂けるとの回答を得ました。

なお、今般の割当先が賀川氏個人ではなく、賀川氏が株式を保有し、代表取締役を務める株式会社 NSKK ホールディングスでの引き受けを行う理由について確認を行ったところ、株式会社 NSKK ホールディングスでは、関西圏を中心に、飲食事業、自動車販売事業、化粧品販売事業、経営サポート事業を営んでおり、各種事業のサービスを提供する関西圏の企業に対して、当社 SMS のサービスを紹介して頂けることから、賀川氏個人ではなく、賀川氏が株式の 70%を保有する株式会社 NSKK ホールディングスでの引き受けを行いたい旨の説明がありました。

(3) 割当先の保有方針

(株式会社武蔵野)

当社は、株式会社武蔵野との間において、継続保有及び預託に関する取り決めはありませんが、割当株式については、長期的視点に立った新規事業構築と事業価値の向上を目指すことを方針とした投資及び支援である旨を確認しており、同時に短期売買目的としているものではない旨の報告を口頭にて受けております。

また、割当予定先との間では、払込期日までに、新株式発行の効力発生日(平成 27 年 12 月 10 日)より 2 年間、当該割当新株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の商号または氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価額、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意する旨の確約書を締結する予定です。

(株式会社 NSKK ホールディングス)

当社は、株式会社 NSKK ホールディングスとの間において、継続保有及び預託に関する取り決めはありませんが、割当株式については、長期的視点に立った新規事業構築と事業価値の向上を目指すことを方針とした投資及び支援である旨を確認しており、同時に短期売買目的としているものではない旨の報告を口頭にて受けております。

また、割当予定先との間では、払込期日までに、新株式発行の効力発生日(平成 27 年 12 月 10 日)より 2 年間、当該割当新株式の全部または一部を譲渡した場合には、直ちに譲渡を受けた者の商号または氏名及び住所、譲渡株式数、譲渡日、譲渡価額、譲渡の理由、譲渡の方法等を当社に書面にて報告すること、当社が当該報告内容を東京証券取引所に報告すること、並びに当該報告内容が公衆の縦覧に供されることに同意する旨の確約書を締結する予定です。

(4) 割当先の払込みに要する財産の存在について確認した内容

(株式会社武蔵野)

当社は、割当予定先である株式会社武蔵野より、同社の財務諸表(平成 25 年 4 月期、平成 26 年 4 月期、平成 27 年 4 月期)、通帳の写しを受領し、引受けに係る払込みを行うことが十分に可能であることを確認し、払込金額以上の預金残高を保有していることを確認いたしました。

以上のことから、当社として本第三者割当に関する払込みに支障のないものと、判断しております。

(株式会社 NSKK ホールディングス)

当社は、割当予定先である株式会社 NSKK ホールディングスより、同社の財務諸表(平成 24 年 9 月期、平成 25 年 9 月期、平成 26 年 9 月期)、通帳の写しを受領し、新株予約権の払込み及び権利行使に係る払込みを行うことが十分に可能であることを確認し、払込金額及び権利行使価額以上の

預金残高を保有していることを確認いたしました。

以上のことから、当社として本第三者割当に関する払込みに支障のないものと、判断しております。

(5) 株式貸借に関する契約

現時点におきましては、各割当予定先から当社及び当社の役員、役員関係者及び大株主と今回の割当先との間における、当社株式の貸借に関する契約・合意等を行う予定はない旨を聴取しております。

7. 募集後の大株主及び持株比率

(1) 新株割当後の大株主の状況

募 集 前 (%) (注)		募 集 後 (%)	
日本証券金融 株式会社	21.51	株式会社 武蔵野	21.32
合同会社アセットレボリューション	19.91	日本証券金融 株式会社	19.97
株式会社 武蔵野	19.12	合同会社アセットレボリューション	18.49
賀川 正宣	4.88	賀川 正宣	4.53
株式会社 SBI 証券	3.66	株式会社 SBI 証券	3.39
三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社	2.18	株式会社 NSKK ホールディングス	3.58
水口 翼	1.93	三菱 UFJ モルガン・スタンレー証券株式会社	2.02
光証券 株式会社	1.58	水口 翼	1.79
中原 基	1.42	光証券 株式会社	1.47
賀川 志麻子	1.21	中原 基	1.32
飯塚 敏夫	0.90	賀川 志麻子	1.13

(注) 募集前の大株主の状況は、平成 27 年 9 月 30 日現在の株主名簿及び平成 27 年 10 月 1 日より、本日までに提出された大量保有報告書をもとに記載しております。

8. 支配株主との取引等に関する事項

該当事項はありません。

9. 今後の見通し

平成 28 年 3 月期以降の業績への影響は、SMS 事業の拡大により、収益への影響が見込まれるものの、組織体制の強化により、費用が増加する見込みです。なお、現時点においては、未確定であり、確定し次第適時開示いたします。

(企業行動規範上の手続き)

企業行動規範上の手続きに関する事項

本第三者割当は、①本株式及び本新株予約権の行使により交付される普通株式の合計の議決権数が、発行決議日現在における当社の発行済株式総数に係る議決権総数の25%未満としていること、②支配株主の異動を伴うものではないことから、東京証券取引所の有価証券上場規程第432条に定める独立第三者からの意見入手又は株主の意思確認手続きは要しません。

10. 最近3年間の業績及びエクイティ・ファイナンスの状況

(1) 最近3年間の業績

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
売上高	617,516 千円	484,574 千円	478,638 千円
営業利益又は営業損失（△）		△654 千円	△6,103 千円
経常利益又は経常損失（△）	37,201 千円	3,171 千円	△8,324 千円
当期純利益又は当期純損失（△）	9,873 千円	△12,052 千円	△27,390 千円
1株当たり当期純利益又は 当期純損失（△）	3.77 円	4.60 円	△10.46 円
1株当たり配当金	－円	－円	－円
1株当たり純資産額	135.93 円	131.32 円	121.14 円

(2) 現時点における発行済株式数及び潜在株式数の状況（平成27年11月25日現在）

	株 式 数	発行済株式数に対する比率
発行済株式数	2,661,720 株	100.00%
自己株式数	—	—
現時点の転換価額（行使価額）に おける潜在株式数	—	—

(3) 最近の株価の状況

① 最近3年間の状況

	平成25年3月期	平成26年3月期	平成27年3月期
始 値	190 円	251 円	204 円
高 値	370 円	328 円	875 円
安 値	122 円	158 円	174 円
終 値	256 円	200 円	416 円

(ア) 最近6ヶ月間の状況

	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
始 値	421 円	399 円	415 円	434 円	489 円	405 円
高 値	574 円	557 円	476 円	528 円	489 円	530 円
安 値	391 円	397 円	381 円	281 円	392 円	401 円
終 値	400 円	415 円	432 円	488 円	404 円	463 円

(イ) 発行決議日前営業日における株価

	平成 27 年 11 月 24 日
始 値	436
高 値	440
安 値	436
終 値	439

(4) 最近 3 年間のエクイティ・ファイナンスの状況
該当事項はありません。

以上

(別紙)

11. 発行要項

(新株式発行要綱)

- | | |
|-------------------|---|
| (1) 募集株式の種類 | : 株式会社 fonfun 普通株式 |
| (2) 募集株式の数 | : 普通株式 205,000 株 |
| (3) 募集株式の払込金額 | : 1 株当たり 金 439 円 |
| (4) 払込価額の総額 | : 金 89,995,000 円 |
| (5) 増加する資本金の額 | : 金 44,997,500 円 |
| (6) 増加する資本準備金の額 | : 金 44,997,500 円 |
| (7) 割当方法 | : 第三者割当の方法による |
| (8) 割当先及び割当株式数 | : 株式会社武蔵野 102,500 株
株式会社 NSKK ホールディングス 102,500 株 |
| (9) 申込期日 | : 平成 27 年 12 月 10 日 |
| (10) 財産の給付期日・払込期日 | : 平成 27 年 12 月 10 日 |